

2009年11月26日

二子玉川東地区再開発 東急が運営する商業施設名称を 「二子玉川ライズ ショッピングセンター」に決定

食料品テナントとして、株式会社東急百貨店、株式会社東急ストアが出店します

東京急行電鉄株式会社
東急不動産株式会社

東京急行電鉄株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）、東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：金指潔）は、このたび二子玉川東地区第一種市街地再開発事業敷地内において、両社で運営する商業施設の名称を「二子玉川ライズ ショッピングセンター」に決定しました。

街の発展とともに歩んでいきたいという想いを込めて

「二子玉川ライズ」は、豊かな自然を育む太陽が、集う人々の毎日を輝かせ、新しい上質な暮らしを運んでくれる街の誕生をイメージして名付けた街全体の名称です。その街の中において、両社が運営する商業施設についても、「地域の皆さまに親しみを持っていただき、街の発展とともに歩んでいきたい」という想いをこめて「二子玉川ライズ ショッピングセンター」と名付けました。

地下1階フロアは“食”を主要なテーマに

「二子玉川ライズ ショッピングセンター」の核テナントとしては、-a街区、-b街区、鉄道街区（鉄道街区については、東京急行電鉄株式会社による単体事業）が一体となる地下1階食料品フロアに、株式会社東急百貨店、株式会社東急ストアが出店します。

この両社が出店する食料品フロアは、約6,000㎡の売場面積を誇り、幅広いアイテムを取り揃え、上質な食生活を提案する「食品売り場（東急百貨店）」と、安心・安全は勿論、鮮度・品質・品揃えの良さで、豊かな日常生活のお手伝いをする「食品スーパー（東急ストア）」が併設され、日常からハレの日まで、地域の皆様の日々の食卓に彩りを提供します。

このほか、地上階については、「都心を感じさせる先進性」「親子で楽しめる」「30代にも手が届く値ごろ感」をキーワードに、コアターゲットである二子玉川における上質な日常生活を実現する30代後半の女性やボリュームターゲットである20代後半～30代前半の女性へ向けた専門店、約150店舗の出店を予定、現在、テナントリーシングを鋭意進めています。

コンセプトは「JIBUN dialogue stage（自分 ダイアログ ステージ）」

「二子玉川ライズ ショッピングセンター」のコンセプトは、コアターゲットの30代後半の女性が、家族の幸せや笑顔を願う妻やママとして、また常に自らの美意識を持っている女性として、そして、自然や社会に少しでも役に立ちたいと願う一人の人間として、自分自身との対話をするステージを提供していきたいという思いから「JIBUN dialogue stage（自分 ダイアログ ステージ）」としました。

ここでは、自分自身のためは勿論、家族のため、自然のため、社会のため、そのすべてにつながりを持ち、自己実現が出来るステージの提供を目指します。

「二子玉川ライズ ショッピングセンター」の施設概要、フロアプランなどは別紙のとおりです。

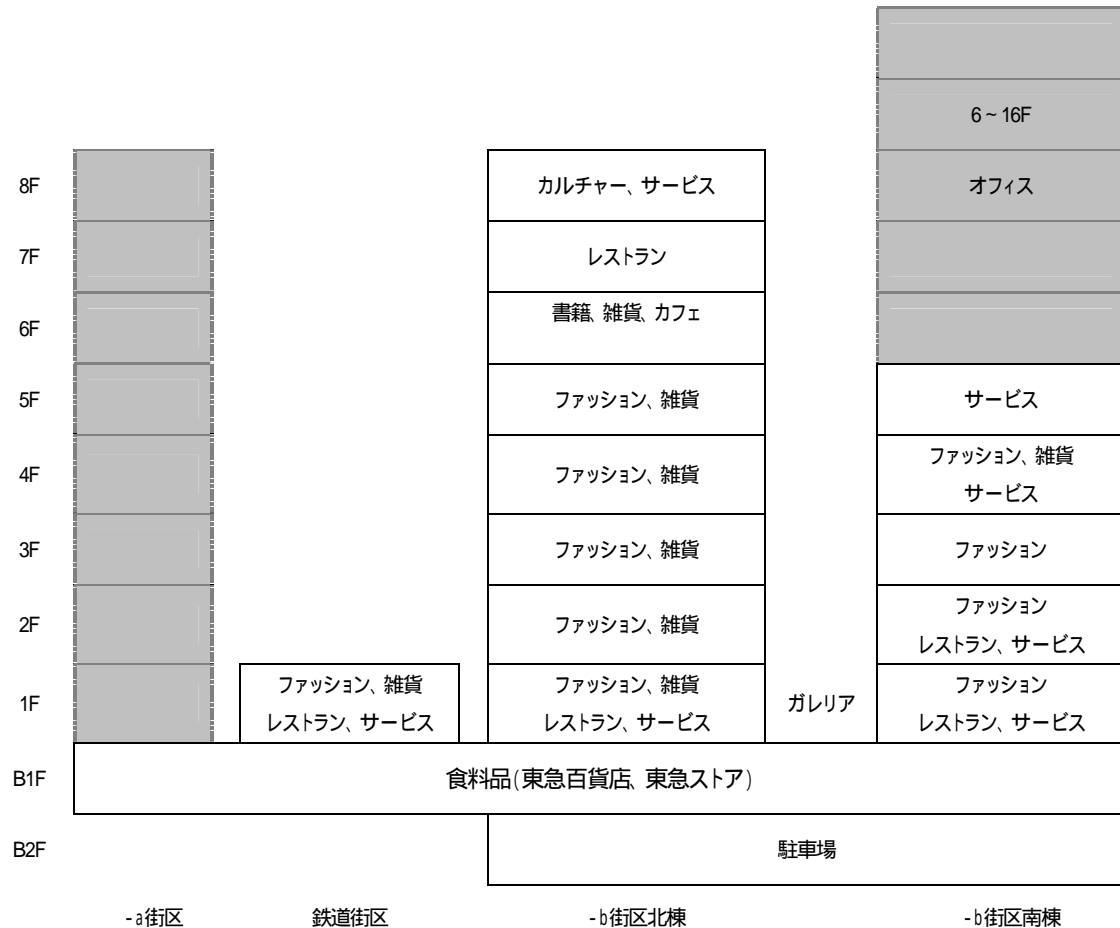
以 上

【別紙】

「二子玉川ライズ ショッピングセンター」施設概要

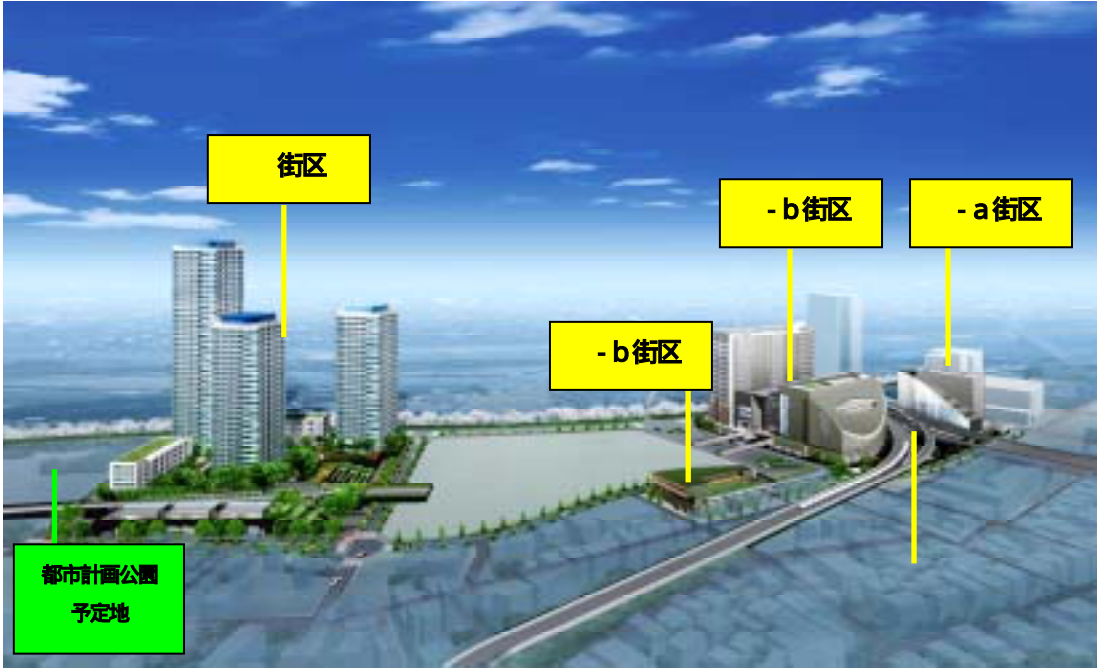
| | | | |
|---------|---------------------|-----------|--|
| 所 在 | 東京都世田谷区玉川二丁目5000番2外 | | |
| 延 床 面 積 | - a 街区 (地下) | 約2,900㎡ | |
| | - b 街区 | 約106,900㎡ | |
| | 鉄道街区 | 約5,800㎡ | |
| 店 舗 面 積 | - a 街区 (地下) | 約1,200㎡ | |
| | - b 街区 | 約27,000㎡ | |
| | 鉄道街区 | 約3,400㎡ | |
| | うち、東急百貨店出店部分 | 約5,000㎡ | |
| | 東急ストア出店部分 | 約1,000㎡ | |
| 店 舗 数 | 約150店舗 | | |
| 駐 車 場 | 約800台 | | |
| 開 業 | 2011年3月 (予定) | | |

フロアプラン



- a 街区地上階 (1階 ~ 8階) は他事業者による運営。

街区全体イメージ



街区外観イメージ

